



# つがる市議会だより

## 3月定例会

- 定例会の概要…………… 1
- 新年度予算…………… 2
- 一般質問…………… 3～6
- 予算特別委員会…………… 7～8
- 常任委員会の審査…………… 8～11
- 議会の動き…………… 12

▶ 第22号 平成22年5月 発行：つがる市議会 編集：議会だより編集委員会



## 2010年新年度スタート!

今年度もスタートし、議員一同、改めて  
つがる市政発展のために努力いたします。

### 3月定例会の概要

平成22年第1回定例会は、3月5日から19日まで、15日間の会期で開催されました。今定例会では、平成22年度一般会計予算やつがる市まつり基金条例など、市長から提出された議案、追加議案を含め55議案を承認及び原案通り可決しました。

一般質問には、成田克子、佐藤孝志、松橋勝利、長谷川徹、木村良博、伊藤良二、三上洋、の7名の議員が登壇、市政の課題について当局の考え方をただしました。

### 主な可決議案

- 平成22年度一般会計予算……………210億3千万円  
(参照項目：2ページ)
- 平成21年度一般会計補正予算額……………4億4,345万1千円  
補正後の予算額……………241億8,252万7千円  
子ども手当準備事業費……………548万2千円  
道路改良舗装工事……………6千万円
- 平成21年度国民健康保険特別会計補正予算額……………1億8,106万3千円  
補正後の予算額……………57億6,767万4千円
- 平成21年度介護保険特別会計補正予算額……………2,141万2千円  
補正後の予算額……………39億5,499万1千円

# 平成22年度総予算額343億2,514万円

一般会計予算 210億3000万円 対前年度比2.5%の減

## 平成22年度一般会計予算

【歳入】		(単位：千円、%)			
区 分	予算額	構成比	対前年度増減額	対前年度当初比	
市 税	2,288,523	10.9	△ 59,274	△ 2.5	
地 方 議 与 税	180,001	0.9	△ 4,000	△ 2.2	
利 子 割 交 付 金	8,000	0.0	0	0.0	
配 当 割 交 付 金	1,000	0.0	△ 1,000	△ 50.0	
株 式 等 譲 渡 所 得 交 付 金	500	0.0	0	0.0	
地 方 消 費 税 交 付 金	280,000	1.3	△ 47,000	△ 14.4	
自 動 車 取 得 税 交 付 金	48,001	0.2	△ 2,000	△ 4.0	
国 市 町 村 提 供 施 設 等 所 在 金	36,895	0.2	601	1.7	
地 方 特 例 交 付 金	26,001	0.1	△ 3,190	△ 10.9	
地 方 交 付 税	10,350,000	49.2	110,000	1.1	
交 通 安 全 策 特 別 交 付 金	4,399	0	△ 913	△ 17.2	
分 担 金 及 び 負 担 料	191,744	0.9	△ 12,337	△ 6.0	
使 用 料 及 び 手 数 料	394,909	1.9	5,792	1.5	
国 庫 支 出	2,682,047	12.8	406,017	17.8	
県 支 出	1,039,524	4.9	△ 51,262	△ 4.7	
財 産 取 入	10,599	0.1	△ 2,344	△ 18.1	
寄 附 金	2	0.0	0	0.0	
繰 越 金	84,937	0.4	△ 33,026	△ 28.0	
繰 入 金	100,000	0.5	0	0.0	
諸 取 入	556,818	2.6	110,636	24.8	
債 権	2,746,100	13.1	△ 956,700	△ 25.8	
歳 入 合 計	21,030,000	100	△ 540,000	△ 2.5	

【歳出】		(単位：千円、%)			
区 分	予算額	構成比	対前年度増減額	対前年度当初比	
議 会 費	203,814	1.0	1,265	0.6	
総 務 費	2,472,571	11.8	△ 637,412	△ 20.5	
生 産 費	6,067,133	28.8	620,671	11.4	
衛 生 費	1,935,818	9.2	256,306	15.3	
労 働 費	79,810	0.4	22,975	40.4	
農 林 水 産 業 費	1,603,655	7.6	△ 58,518	△ 3.5	
商 工 費	141,000	0.7	△ 41,055	△ 22.6	
土 木 防 護 費	1,516,218	7.2	△ 253,987	△ 14.3	
消 防 費	1,284,755	6.1	△ 134,707	△ 9.5	
教 育 費	2,176,208	10.3	△ 215,891	△ 9.0	
災 害 復 旧 費	0	0.0	0	0.0	
公 債 償 還 費	3,519,018	16.7	△ 99,647	△ 2.8	
予 備 費	30,000	0.1	0	0.0	
歳 出 合 計	21,030,000	100	△ 540,000	△ 2.5	

特別会計予算			
区 分	当初予算額	対前年度増減額	対前年度当初比
土 地 取 得 特 別 会 計	0	△ 5,216	△ 100.0
農 業 集 落 排 水 事 業 特 別 会 計	605,860	△ 185,560	△ 23.4
公 共 下 水 道 事 業 特 別 会 計	648,523	△ 14,589	△ 2.2
国 民 健 康 保 険 特 別 会 計	5,672,192	198,150	3.6
老 人 保 健 特 別 会 計	826	△ 5,004	△ 85.8
後 期 高 齢 者 医 療 特 別 会 計	611,966	△ 2,720	△ 0.4
介 護 保 険 特 別 会 計	3,699,845	129,237	3.6
合 計	11,239,212	114,298	1.0

公営企業会計予算			
区 分	当初予算額	対前年度増減額	対前年度当初比
国 民 健 康 保 険 病 院 事 業 会 計	2,055,930	86,280	4.4

22年度会計別当初予算 対前年度比較			
区 分	平成22年度	平成21年度	増 減 額
一 般 会 計	21,030,000	21,570,000	△ 540,000
特 別 会 計	11,239,212	11,124,914	114,298
公 営 企 業 会 計	2,055,930	1,969,650	86,280
全 会 計 総 額	34,325,142	34,664,564	△ 339,422

平成22年度のつがる市当初予算が決まりました。一般会計と特別会計、企業会計を合わせた全会計の予算総額は、対前年度比1%（3億3,942万2千円）の減で、343億2,514万2千円となりました。

これまでの財政健全化の方針を継続するとともに、行政改革、経済状況等を踏まえ、予算の重点的かつ効率的な配分に努めました。一般会計の歳入は、今年度も景気悪化等による減収

が見込まれ、市税は2.5%（5,927万4千円）の減で22億8,852万3千円を見込んでいます。景気低迷により引き続き財政環境に即応した運営が求められております。地方交付税は、雇用対策・地域資源活用臨時特例費等の創設により、対前年度比1.1%の増額、103億5千万円を計上しています。

歳出では、事務事業の見直しや選択を行った結果、5億4千万円の減額となりました。

特別会計予算の、土地取得特別会計及び宅地造成事業特別会計は事業の終了により廃止しました。特別会計全体で、対前年度比1%の増加となっています。公営企業会計予算は、対前年度比4.4%の増加となりました。

これからの、質の高い行政サービスを将来にわたって提供できるよう、行財政構造改革を進め、最小の経費で最大の効果を上げる合理的な経営に努めていかなければなりません。

## 主な可決議案

つがる市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正

職員の勤務時間を改め、育児又は介護を行う職員の早出遅出勤務及び時間外勤務代休時間を新たに設けるもの。職員の勤務時間は、休憩時間を除き、4週間を超えない期間につき、1週間当たり

改正前 40時間とする

改正後 38時間45分とする

## 人事案件

つがる市教育委員会委員の任命につき同意を求めるの件  
平成21年3月30日に任期満了になった教育委員に、  
神元 勝氏（森田）  
を同意しました。

## 民事調停の件

鯉ヶ沢簡易裁判所平成21年（ノ）第14号賃料請求調停事件について、調停を成立させるため提案したものを、  
申立人の趣旨

市営住宅の滞納賃料である金52万8,940円の支払いを求める。

## 調停の内容

相手方からは申立人（つがる市）に対し、連帯して債務の支払い義務があることを認める。  
分割して支払う。

# 一般質問

# ここが聞きたい



成田 克子  
平政会

・「知恵とやる気で即実行」の職員提案制度の導入について

**問** 本市も平成の大合併から5年の節目の年を迎えて更なる発展を目指しています。職員のアイデアを行政に反映させる「職員の知恵とやる気で即実行」の職員提案制度を導入してはいかがか。

**答** 市長

当市におきましては、平成17年11月につがる市職員提案制度に関する取り扱い要綱を定めており、その目的としては、市政発展のため職員の創意工夫による提案を奨励して事務効率及び職員の意識改革や政策の形成能力、これらの向上を図ることとしております。

私といたしましても、常日頃から財政が厳しい中にあっても資金がなければならぬに知恵を出していただきたいと職員に伝えているところであります。

現在、国におきましては、少子高齢化や経済の低迷する中で、市民との協働のまちづくりを進めるべく、幅広く職員からアイデアを募りまして、また市政の発展のために職員の士気高揚を高めたいと考えております。

**答** 総務部長

職員の提案による今までの実績で、歳入の確保といったしましては、広報紙やホームページへの有料広告の掲載がございまして、

また、予算書や総合計画、市政要覧を有料化してはどうかという提案もございました。

毎年市役所では、事務事業や組織機構の見直しを行っております。その際、業務の改善、それに伴う組織機構の見直しを各課から提案を求めています。

最近では、暮らしの便利帳（製作費無料）の発行、蛍光灯の消灯活動、コピー用紙の裏面利用など経費削減のため、各課で独自の取り組みを行っているところがございます。



暮らしの便利帳



佐藤 孝志  
平政会

・戸別所得補償制度と転作一律助成について  
・支所の統廃合の在り方の検討結果とその際の高齢者対策について

**問** 米農家に対する戸別所得補償制度は恒久的な対策なのか。また、転作助成金も、麦、大豆、飼料用作物は減額になり、農家の方々は非常に不安を持っているのか伺いたい。

**答** 経済部長

米の戸別所得補償につきましては、平成22年度はモデル事業で実施し、平成23年度から本格実施移行するということになっており、恒久的な対策ではありません。また、転作一律助成については、平成21年度は産地確立交付金と言うことで、麦、大豆、飼料作物に対して、10アール当たり約4万2千円が交付される見通しですが、平成22年度は水田活用自給力向上事業と言う名称に変わり、3万5千円となっております。しかしこの単価は、その他の作物に對する助成部分及び麦、大豆、飼料用作物間での単価調整をして産地確立交付金との差額をできるだけ緩和できるようにになっており、差額部分を出るだけ詰めるような方法で検討されています。

**問** 支所の廃止により高齢者の移動が大変になると思う。昨年、郵便局などへの業務委託の提案をしたが、どのように検討したのか。すまいるプラザの必要性は高くなると思いが、いかがか。

**答** 市長

本庁組織機構再編統合方針に基づきまして、平成23年4月から森田、柏支所は廃止の方向です。稲垣、車力支所の統合ですが、平成24年を予定してはございますが、支所の場所等につきましては色々な意見もございまして、しばらく検討の時間をいただければと思います。

高齢者を含め、交通弱者の方が不便を感じさせないような、コンビニエンスストアを利用した税の納付等も検討しておりますが、実施するという結論には至っておりません。平成22度中には計画をお示ししたいと思っておりますのでご理解をお願いします。

**答** 総務部長

つがる市と郵便局株式会社間で協定を結ぶという方針についてのご意見がございましたので、協議をしながら方針を進めていきたいと思っております。

ジャスコ内すまいるプラザ出張所の拡張業務体制については、年々利用者が増加しておりますので事務室が手狭になり、プライバシーが保てない状況にあります。他の場所に移転予定で予算措置をいたしました。十分な業務スペースを確保し、今以上の機能を持たせることが可能になると思っております。



松橋 勝利  
無所属

・埋没林の今後の保存の在り方と七里長浜の今後について  
・青森県交通災害共済組合について

**問** 埋没林と七里長浜を見てきたが、浸食が年々激しく文化的、観光的に貴重な名所が消失してしまいう可能性がある。今後の保存方法について聞きたい。

**答** 市長

七里長浜の海岸線は日本海側からの強い季節風を受けて浸食され、失われているという事は、十分に私も認識しております。特に昨年二月の大型の低気圧により出来島地区の埋没林の一部が浸食されたことから浸食防止対策を県に要望しております。県では浸食の激しい、吹原、越水、出来島雉子森地区について整備を行っているとのことでした。県、国、東北森林管理局も含めまして、連携を取りながら浸食防止に取り組んでまいりたいと思います。

**答** 教育委員会次長

この場所は、波風が強くと、消波ブロックが半分埋まっているというのが現状です。消波ブロックを設置するなど浸食防止が一番のいい解決策だと思えますが、何かしら手を加えて埋没林そのものに影響があつてはならないと考えています。教育委員会としては、保護活用の観点から、当面、自然のままにしておくのがいいと思えますが、国、県の指導を受けながら進めていきたいと思えます。



長谷川 徹  
平成会

・農産物加工所について  
・米粉加工品の普及推進について  
・学校給食への「地産地消の日」導入について

**問** 農産物加工所の管理運営はどのような状況であるのか。民営化を進めるべきかと考えるがこれらの説明を求める。

**答** 経済部長

市内には、木造、柏、森田、稲垣に加工センターがございますが、柏、森田につきましては、職員を配置して直営で管理をしております。木造は、シルバー人材センター、稲垣は稲垣農産物加工研究会に委託をしております。

木造、稲垣の加工センターにつきましては、今後、指定管理制度への移行を検討中でございます。

**問** 米粉加工品の普及推進は米の消費拡大に基づく重要な課題だと思ふ。木造農産物加工センターに米粉製粉機が導入されたとのことだが、どのように活用していくのか。

**答** 市長

米の消費拡大は当市にとっても重大な課題であるというふうに認識しており、米粉を活用した加工品の開発を進めるために米粉の製造に適した米粉粉砕機を導入しました。広く市民の方々に利用してもらうためには米粉を利用した料理の講習会などの開催について検討したいと考えてございます。

また、新たな商品の開発を目的として現在活動している加工グループ

の産直施設友の会の方々に米粉を活用した加工品の開発を働きかけていきたいとも思っております。販売面での強化、米粉の加工品のコーナーなどを創設いたしました。産直施設や市内の小売店などにお願ひしてまいります。

**問** 農産物加工品による地産地消給食を子供たちに提供することは、ブランド化の大きな推進につながり、消費拡大に大きく結びつくものと考えます。学校給食に地産地消の日を導入することについて考えを伺いたい。

**答** 教育委員会次長

つがる市栄養教諭、学校栄養職員部会では11月中の一日をふるさと産品給食の日と定め、つがる市産の長いも、ゴボウ、長ネギ、大根などを共通食材としたつがるちゃんトン汁というものを給食メニューに取り入れ実施しました。

日頃から学校給食の食材については、つがる市産を極力使用していただくよう指導し、それを実行しているところがございます。

特定の日を定めるということは考えていませんが、米粉を製粉する機械が導入されたという点です。

で、米粉パン等の供給体制が今後どのように活用できて、どのくらい安価で安定的に供給できるものか詰めていきたいと思えます。



木村 良博  
平成会

- ・農産物ブランド化の効果について
- ・東北新幹線の開通について
- ・つがる市消防団について

**問** 市長は公約に農産物のブランド化を掲げているが、合併から5年が過ぎ、今までの費用対効果をどう評価するのか。

**答** 市長  
平成17年度に農産物ブランド化推進会議を設置し、各関係者の協力のもと、消費者の安全安心志向に対応する市独自の認定基準を設けてやっています。

平成21年度では、これまで申請のなかった長いも、ゴボウも協力が得られ、1、446名の生産者がブランド認定を受けて農産物の生産に取り組んでいただきました。ブランド認定によって具体的な農産物の価格向上にはつながっていないのは事実で、費用効果が表れていないのが実感でございます。他産地との異なる差別化が必要であると思っています。市民、生産者、関係機関の皆様の意見、助言を聞きながら進めて参りたいと思いますのでご理解とご協力をお願いしたいと思います。

**問** 東北新幹線全線開通ということ  
で、どのような施策を取っているのか伺いたい。市にある、観光協会、物産協会、姉妹都市協会を一つにすることによって効果が上がると  
思うが、どう思うか。

**答** 市長  
全国から観光客を呼び寄せるためには、新青森からの二次交通の問題、旅行ニーズへの対応を考慮しながら認知度の高い観光資源を最大限に活用していきたいと思っています。このような中で、観光協会、姉妹都市協会、物産協会も連携することで、より効率的な事業を実施できるのではないかと、合併の可能性も視野に入れて話し合いを実施しております。また、商工会とも連携をしながら新幹線開業に向けた観光施策等を話し合うよう協議会を設置することが決まりました。新幹線開業効果を利用し地域活性化への施策を検討している段階であります。

**問** つがる市消防団員数の推移と消防団の合併を考えているのか。

**答** 消防長  
平成17年2月の合併時に実員数は1、364名、平成22年の3月1日現在1、331名となっております。ほぼ現状維持でございます。地域の消防力の強化と言う観点から57分団の統廃合も検討する必要があると思いますが、消防力強化のために54ある部を見直しをしまして、48にする予定でございます。

**問** 東北新幹線全線開通ということ  
で、どのような施策を取っているのか伺いたい。市にある、観光協会、物産協会、姉妹都市協会を一つにすることによって効果が上がると  
思うが、どう思うか。



伊藤 良二  
平成会

- ・つがる市独自の雇用対策について
- ・グループホームの許認可について
- ・除雪対策と住宅建設計画について

**問** 西北五地域は失業率が特に悪く、つがる市独自の雇用対策はどのように実施しているのか聞きたい。

**答** 経済部次長  
現在の西北五地方の求人倍率は平均で0・12%となっております。平成21年度からのふるさと雇用、緊急雇用対策で、求人を進めており、ふるさと雇用で、24名、緊急雇用で21名を雇用する予定になっております。

**問** こころ、二年のグループホームの許認可はあるのか。また、自治体の負担は金額的にどの程度になっているのか。

**答** 市長  
つがる市の老人福祉計画、第四期介護保険事業計画の中では、新たな施設の整備は定めておりません。これは、高齢者の人口、要支援、要介護認定者の人たちの増加が見込まれる中で、居宅において継続的に日常生活を行うことができる在宅サービス及び介護予防サービスの充実を図るためであります。

**答** 福祉部長  
1ユニット9人の定員の認知症

対応型グループホームを整備した場合、市の負担は、341万9千円です。

**問** 木造旧町には市道が多いが、これから融雪溝を入れる計画はあるのか。また、これからの公営住宅建設計画を伺いたい。

**答** 建設部長  
現在市内には46・1kmの融雪溝がありますが、この大半は県が事業主体となって整備したものでございます。平成21年度では稲垣地区と下車力地区で実施しました。旧町においては、現在松原団地と桜川地区の側溝整備を重点的に進めていることから、融雪溝の設置は計画しておりません。

融雪溝を設置する場合、バス路線であること、一日300台以上の通行車両があることなどの要件がありますので、大変無理がある状況であるかと思えます。

今年度の新規住宅は、車力屏風山団地の2戸、森田第二若緑団地の2戸で終了となり、引き続き昭和40年代に建設された老朽住宅、木造地区では若緑団地、桜木団地が312戸の建て替えを平成23年度から着手する予定です。

今年度の新規住宅は、車力屏風山団地の2戸、森田第二若緑団地の2戸で終了となり、引き続き昭和40年代に建設された老朽住宅、木造地区では若緑団地、桜木団地が312戸の建て替えを平成23年度から着手する予定です。



三上 洋  
平成会

### 指定管理者制度について

**問** 指定管理者制度を導入している施設は何か所あるのか。導入すべきであるという判断基準は何か。また、指定管理料の総額はいくらで、個人情報を守らせる指導はしているのか。

**答** 総務部長

平成17年に関係条例を整備いたしまして、基本方針を策定、順次導入を進めてきました。今現在つがる市にある公の施設では、47施設が指定管理者制度を導入しております。導入すべき施設であるという判断のポイント、市が直接管理運営を行っている施設では、当該施設のより効果的効率的な管理運営の在り方や活用方法等について点検し、指定管理者制度の導入を検討していくこととしていきます。

指定管理者による管理が望ましい施設といたしましては、民間事業者等が有する経営手法により利用者へのサービス向上が期待できる施設であること、更には民間事業者等に管理をゆだねることによりコスト削減、あるいは収入の増加が期待できる施設であること。そして、民間事業者等が市と同様、または類似の施設を設置しており、市の施設が民間と競合している施設であること。

単純な管理業務が主となっている施設であること。施設設置当初から管理業務を委託している施設であること。これらを判断基準としております。

平成21年度の予算で指定管理料については47施設全体で1億2、612万円となっています。

市と指定管理者の間で結ぶ協定書の中には、秘密の保持、個人情報の保護等の規定がありますが、条例、協定のみで頼るのではなく、市としても指導してまいりたいと考えております。

**問** 住民のニーズの変化に伴い、施設の現状を分析し、廃止するもの、休止するもの、他の施設への移転など行政のスリム化を図ってみたいかどうか。

**答** 市長

公の施設に関しましては、それぞれ国、県からの補助金が入っている、様々な制約もございますので、その辺も勘案しながら、廃止、民間委託、指定管理制度などに仕分けすることがこれから出てくると思います。

今後、検討あるいは査定していきたいと思えます。

## 向陽小学校改築事業・耐震診断結果説明会

3月5日、向陽小学校改築工事と耐震診断結果に関して、教育委員会から議員への全体説明がありました。

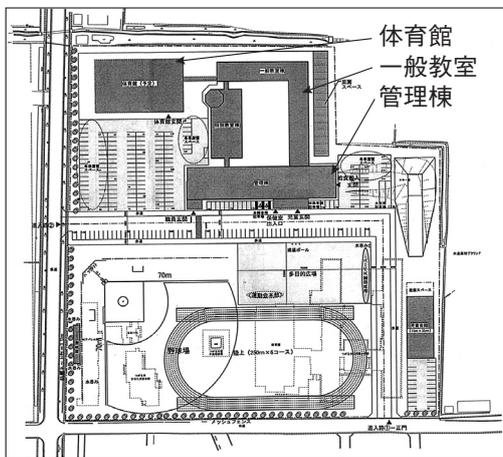


説明会の様子

### 向陽小学校改築事業

申請建物概要

鉄筋コンクリート造2階建  
総床面積 4,931.85㎡



配置図

### 事業内容についての説明

向陽小学校は、平成23年12月の完成を目指し、実施設計が終わり、現在、建築確認申請を提出しています。

普通教室11室、特別支援教室、コンピュータ室を備え、給食は自校式となっています。

グラウンド整備予定地内に建てられている旧相撲場、児童館、トイレ棟の解体は平成23年の6月頃から始めます。現校舎の解体は校舎が完成次第すすめ、その後グラウンド工事の整備にとりかかります。

### 耐震診断結果

つがる市公立小中学校（昭和56年以前に建築された非木造の200㎡以上の建物対象）を耐震調査をした結果、補強工事が必要となる構造耐震診断指数0.7を下回った建物は、牛湯小学校、車力小学校、柏中学校の各体育館3カ所と診断されました。そのため、新年度予算で3小中学校の補強工事の設計を予算計上させていただきました。

児童・生徒・教職員の安全・安心のため早急に対処するものです。

# 予算特別委員会の審査



委員長  
伊藤 良二

## 議案第9号 つがる市まつり基金条例

**問** 安田 裕委員  
まつり基金条例は、従来からある祭りの他に、その他の事業を考えているのか。

考えていないのか。

## 答 経済部長

稲垣のカントリーエレベーターと、ライスセンターは現在、つがる市の所有となっております。市の財産と言うことで、基本的にはつがる市で修繕を行います。最終的に、農協から修繕料の2分の1の負担をしていただけるようではあります。

## 答 経済部長

ねぶたまつり、花火大会、チエスポローカップ、馬市まつりに充当する基金です。基金の額は、6、281万4千円を計上しています。これは、平成22年度から31年度まで10年間にわたって使用させていただくものです。

## 議案第10号 一般会計補正予算

### 問 齊藤 進委員

稲垣カントリーエレベーター改修事業費が計上されているが、所有権はどこにあるのか。利用者負担は



稲垣カントリーエレベーター

入っておりますが、利用料等につきましては、もう少し協議の時間をいただきたいと思えます。

## 問 安田 裕委員

監査委員から提出された監査結果報告書の中に、社会福祉協議会の監査内容で、しゃこちゃん温泉の利用者数と利用料が整合性に欠けると指摘されているが、これはどういうことか。

## 答 監査委員

温泉施設の利用者が伸びているのにもかかわらず、利用料が前年度に比べて減額になっていきます。利用者が伸びれば、利用料も増額になるはずですが、無料サービス券の利用が増えているとのことでした。

## 答 福祉部長

旧木造町において、しゃこちゃん温泉の無料入浴券を高齢者に配布していましたが、この券は現在においても利用されています。また、旅行雑誌の広告に、無料入浴券も記載しております、これらのことが、整合性に欠けるとの指摘になっ

たと考えております。

現在は、配布は行っておりませんが、結果として皆様に不快感を与えることになり、大変申し訳なく、深くお詫び申し上げます。

今一度、経費の節減、サービスの向上、適正な事業運営に努めるよう指定管理者に対する指導を行ってまいります。

## 答 市長

双方の担当する部局が更に適切に連絡を取り合い、適正な管理運営を執行していくよう指導してまいり所存でございます。どうぞご理解を賜りたいと思っております。

## 議案第14号

### 平成21年度国民健康保険特別会計補正予算

#### 外崎 栄委員

昨年、収納課員が増員されて、どのぐらいの税収があったのか。徴収率が上がらないのでペナルティが課せられるのではないか。

## 答 財政部長

雇用の不安定、農家所得の落ち込みなど非常に厳

しい状態ではあります。電話による督促や訪問を行ってはいますが、実績が伴っていない現状です。

一般税におきましても、昨年に比べて3・24%低い徴収率で、現年度分についても、0・75%の減ですが、5月まで強化月間も設けながら、少しでも徴収率が上がるように努力してまいります。

## 答 民生部長

当市は、平成20年度において、87・9%の収納率で7%のペナルティを課せられており、4、200万円ほど減額されて交付されています。

※ペナルティとは  
国民健康保険料にかかると、調整交付金算定にあたっての収納率による減額措置のこと。

## 議案第19号 平成22年度一般会計予算

### 問 安田 裕委員

1階でできないものか。



生涯学習センター「松の館」

**答** 総務部長

期日前投票の要件が緩和され、多くの方が期日前投票にいらつしやるようになっておりますので、すぐに投票できるような体制が望ましいと思います。

市役所の構造の制約もあり、秘密の保持もしなければなりません。選挙管理委員会でも勘案されていると思いますが、検討させていただきます。

**問** 松橋 勝利委員

地域グリーンニューデール補助金、1、800万円の説明を。

**答** 教育委員会次長

地球温暖化対策事業で、生涯学習センターの蛍光灯をLEDに換え、窓ガラスを高遮熱性塗装をして熱を遮断し、温室効果ガスの排出を削減するための事業です。財源は、県からの補助です。

**問** 安田 裕委員

地方交付税は今回1億1千万円の増額になっているが、これは国から内示があったのか。

**答** 財政部長

地方交付税は、例年7月頃に交付税の算定を行いますのでその時点で最終的な決定額となります。現段階において額の提示はありませんが、国の地方交付税の増額が今年の場合、6.8%増と国の予算が示されていますので、これを勘案しながら試算して、当初予算に計上したものです。

**答** 齊藤 進委員

国政が変わり、初めて国の新年度予算も決まり、地方交付税も方針が変わったことを踏まえて、わが市

の長期債務の返還等、財政運営状況について聞きたい。

**答** 財政部長

平成21年度決算においても、実質公債費比率は18%を超える見込みで、平成24年度までは上がっていくと考えています。

今年の交付税は、国では6.8%伸ばすということですので、平成22年度においては、若干伸びるものと考えて

### つがる市公の施設に係る指定管理者の指定について

指定期間 平成22年4月1日から平成25年3月31日まで

施設の名称	管理者の団体・名称	指定管理料
つがる市森田ふれあい交流の里「おらほの湯」	つがる地球村株式会社	600万円
つがる市木造福祉交流センター「花しょうぶの館」	社会福祉法人つがる市社会福祉協議会	829万円
つがる市車力ウェルネスセンター	〃	1007万円
つがる市柏ふるさと生きがいセンター	〃	444万円
つがる市つがる地球村、つがる地球村スポーツパーク	つがる地球村株式会社	700万円
つがる市森田農村環境改善センター	〃	288万5千円
つがる市道の駅アーストッ	〃	50万円

指定期間 平成22年4月1日から平成27年3月31日まで

施設の名称	管理者の団体・名称	指定管理料
つがる市稲垣特別養護老人ホーム安住の里	社会福祉法人つがる市社会福祉協議会	なし
つがる市車力特別養護老人ホームゆうあいの里	〃	なし
つがる市車力老人福祉センター	〃	289万円
つがる市柏老人福祉センター	〃	383万円
つがる市木造福祉センター「かつこうの館」	〃	なし
つがる市稲垣デイサービスセンター	〃	なし
つがる市稲垣デイサービスセンターふれあいの家	〃	なし
つがる市森田デイサービスセンター	〃	なし
つがる市柏デイサービスセンター	社会福祉法人柏友会	なし
つがる市車力デイサービスセンター	社会福祉法人つがる市社会福祉協議会	なし
つがる市車力デイサービスセンターゆうあいの里	〃	なし
つがる市稲垣在宅介護センター	〃	なし
つがる市稲垣シルバー創造センター	つがる市寿幸会	248万円

ております。公債費率の算定にもその辺が影響を与えると考えておりますので、財政健全化団体になるという状況には陥らないと試算の段階でも出ておりますし、そこまでつがる市が悪くなる状況ではないと言えます。

**問** 佐々木 直光委員

昨年度からみると、農業振興費が大幅に減っているが、どのような理由から

**答** 経済部長

前年度から、約5、700万円ほど減額になっております。これは、前年度当初予算で3、700万円ほど計上されていた、集落営農に係る予算がなくなつたことと、ブランドの予算も昨年度より660万円ほど削減されております。貸付金でも、稲垣の公社の部分が200万円ほど減っております。

**問** 長谷川 徹委員

市農業士会補助金15万3千円、vicウーマンの会補助金8万1千円とあるが、つがる市には農業後継者も多く、この補助金は、あまりにも少ないのではないかとと思う。考慮していただきたい。

**答** 経済部長

各団体に対する補助金は、合併前からそれぞれ必要な額が計上されてきていた訳ですが、行政改革で一律カットされて各団体ともこの額に決まったという経緯があります。今後活動している団体の状況によっては、今の額が適

正なのか、見直すべきものは、見直していく必要があるかと考えています。

**問** 佐々木 直光委員

国保税の値上げをする訳だが、何年間はそのままで大丈夫であるなどの試算があるのか。

**答** 民生部長

今年度は前年度に比べ医療費が2億円ほど伸びるのではないかとの見込みをたてております。それに加えて手術料などの高騰を考慮した結果、国保税の値上げを17%にしました。今後の伸びをある程度見ながら、一般会計からの繰り出しもやむを得ないという理事者からの了解も得ていますので、そういう手当てをしながら、税金の推移については、単年度ごとに見直しをかけていくことになるかと思えます。

平均患者数が減っているが、その原因は。

**答** 成人病センター事務局長

昨今の人口減、高齢化、それに伴いグループホーム等の医療施設が増えており、過去に比べて入院患者数が少なくなっております。

外来も、医師不足から長期処方をしております。

昨年度は新型のインフルエンザも発生しており、感染防止委員会を開き、長期処方を実施しました。それにより外来患者も減っております。

請願者

栄田自治会

会長 山谷 博敏

笹木小中野自治会

会長 増田 弘寿

上相野自治会

会長 今 久夫

柏広須自治会

会長 工藤 定一

紹介議員

佐々木直光、木村良博

平川 豊、佐藤孝志

三戸昭男、山谷 仁

審査結果 採択

この請願は、上相野柏線1、300mの舗装の傷みが激しく、早々に舗装するように請願したものです。

この市道は、地域住民はもとより、近隣地域の通行にも非常に重要な路線であり、子供たちの通学路として大切な路線となっており、道幅も狭く、冬期間は中学校のスクールバスが運行できない状況になっております。

また、国道101号渋滞時の迂回路線としても利用されているため傷みが激しく、穴埋めをしてもすぐ破

損していくような状態です。そのため、拡幅・修繕を求めているものです。

委員会では、現地を視察し、道幅が狭く、危険な箇所は修繕していかなければならぬとの意見で採択しました。



地域住民から説明を聞く委員ら

**市道の路線認定の件**

**問** 佐々木 慶和委員

県から市に移管され管理することになった道路は、舗装を修繕してから市へ移管するようにできないものか。

**答** 建設部長

これまでもバイパスが出来て、修繕等はしていますが、移管までに10年も経つ訳で、その間に傷んだ所は、県の方でも修繕等は

出来ないとのこと、そのまま移管されています。

**問** 安田 裕委員

県から移管を受けるメ

**答** 建設部長

**問** 白戸 勝茂委員

市道であるのと県道であるとの違いは。

**答** 建設部長

県道に移管すれば、当然交付税参入の対象から外れるわけですが、県道の維持補修や除雪などは県の方でやりますので、経費がかかりません。



県に移管された沼原木造線

議案第26号  
平成22年つがる市度国民健康病院事業会計予算

**問** 安田 裕委員

成人病センターの一日



委員長  
天坂 昭市

常任委員会の審査

建設常任委員会

◆請願第1号

市道上相野柏線の拡幅及び舗装修繕に関する請願について

## 経済常任委員会



委員長  
三上 洋

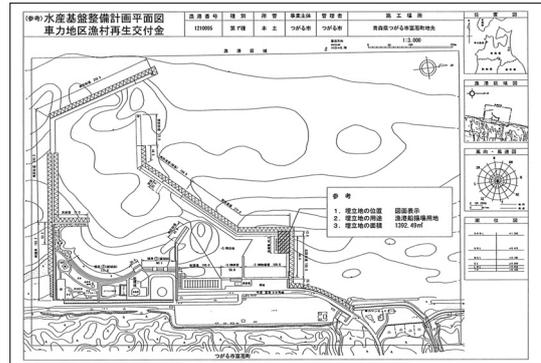
### 公有水面埋立てについて

車力漁港区域内に新たに船揚場を設置する

**問** 佐藤 孝志委員  
この予算は、国・県の補助金なのか。事業費は。

**答** 経済部長  
この事業は、国が2分の1、県が4分の1、市の持ち出しが、4分の1となっており、20年、21年度2カ年の事業であります。3月の補正予算を計上させていただきますので、21年度で繰越をして、22年度に事業を行う予定です。事業費は1億700万円です。このうち3月補正は、5、220万8千円です。

## 公有水面埋立て平面図



## 指定管理者の指定について

**問** 佐藤 孝志委員  
森田道の駅の指定管理の期間は、2年だったが、3年になったのはなぜか。

**答** 経済部長  
最初の年は、2年、3年の期間の施設もありましたが、現在経済部で所管しているものは、有料のものについては、3年、無料のものについては、5年で行っていきます。

## 意見書

本定例会に次の意見書が議員提出議案として提出され、原案の通り可決、内閣総理大臣及び厚生労働大臣に提出しました。

**最低賃金法抜本改正と安定雇用の創出、中小企業支援策の拡充・強化を求める意見書**

最低賃金を大幅に引き上げ、働く貧困層をなくし、早急に日本経済を景気回復への道へと導くため、次の内容を早期に実行するよう、意見書を提出する。

1、政府は、ワーキングプアの根絶と、地域格差是正のため、全国最賃1、000円を実現するための最低賃金法の抜本改正を行うこと。

2、政府は、法改正と併せて中小企業支援策の拡充と、下請取引適正化のための制度改善を実施し、まともな単価で公正取引が行われる経済環境を実現すること。

3、政府は、企業に対し、労働者の雇用維持と安定雇用の創出を求めること。

## 教育民生常任委員会



委員長  
齊藤 幸洋

### 国民健康保険条例一部改正

**問** 木村 良博委員  
21年度の国保税の徴収率はどのぐらいか。

**答** 国民健康保険課長  
現年度分は、2月末までで、82・82%。滞納繰り越し分が、14・69%です。夜間徴収をするなど、収納課と連携して、収納率アップにつながるよう努力したいと思えます。

**問** 野呂 司委員  
値上げをしなければいけないのは分かるが、どのくらい上がるのか。標準世帯の保険料はどのくらいになるのか。

**答** 国民健康保険課長  
150万円の所得がある世帯と仮定して、現行、約20万6千円が、17%

アップすることにより、24万6千3百円になります。

### 施設の指定管理について

**問** 平川 豊委員  
木造福祉交流センター「花しようぶの館」の指定管理料が減額になっているが、その理由は。

**答** 福祉部長  
他の施設も同様に、施設が老朽化してきたことにより、様々な修繕が必要になってきています。大規模改修については市の方で対応していますが、30万円以下の小規模な改修については、指定管理者の方でやっていたり取り決めになっております。

今回、市の方で大きく改修することもありますので、ある程度施設の改修は行われることから、少額部分の経費は縮減できるのではないかとの見込みで、指定管理料も減額しております。

**問** 松橋 勝利委員  
車力ウエルネスセン

## 提出された議案と審議結果

### (市長提出議案)

議案番号	件名	議決結果
報告第1号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件 (つがる市老人福祉センター条例の一部を改正する条例)	承認
報告第2号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件 (民事調停の件)	承認
報告第3号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件 (つがる市西北五広域連合規約の変更について)	承認
報告第4号	専決処分した事項の報告及び承認を求めるの件 (平成21年度つがる市一般会計補正予算(第8号))	承認
議案第1号	つがる市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部改正	原案可決
議案第2号	つがる市職員の育児休業等に関する条例の一部改正	原案可決
議案第3号	つがる市職員の給与に関する条例の一部改正	原案可決
議案第4号	つがる市コミュニティ消防センター条例の一部改正	原案可決
議案第5号	つがる市特別会計条例の一部改正	原案可決
議案第6号	つがる市まちづくり基金条例等を廃止する条例	原案可決
議案第7号	つがる市病院事業職員の特殊勤務手当に関する支給条例の一部改正	原案可決
議案第8号	つがる市後期高齢者医療に関する条例の一部改正	原案可決
議案第9号	つがる市まつり基金条例	原案可決
議案第10号	平成21年度つがる市一般会計補正予算(第9号)	原案可決
議案第11号	平成21年度つがる市土地取得特別会計補正予算(第1号)	原案可決
議案第12号	平成21年度つがる市農業集落排水事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第13号	平成21年度つがる市公共下水道事業特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第14号	平成21年度つがる市国民健康保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第15号	平成21年度つがる市老人保健特別会計補正予算(第2号)	原案可決
議案第16号	平成21年度つがる市後期高齢者医療特別会計補正予算(第3号)	原案可決
議案第17号	平成21年度つがる市介護保険特別会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第18号	平成21年度つがる市国民健康保険病院事業会計補正予算(第4号)	原案可決
議案第19号	平成22年度つがる市一般会計予算	原案可決
議案第20号	平成22年度つがる市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決
議案第21号	平成22年度つがる市公共下水道事業特別会計予算	原案可決
議案第22号	平成22年度つがる市国民健康保険特別会計予算	原案可決
議案第23号	平成22年度つがる市老人保健特別会計予算	原案可決
議案第24号	平成22年度つがる市後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第25号	平成22年度つがる市介護保険特別会計予算	原案可決
議案第26号	平成22年度つがる市国民健康保険病院事業会計予算	原案可決
議案第27号	工事の請負契約の件(車力中学校屋内体育館改築工事)	原案可決
議案第28号	市道の路線廃止の件	原案可決
議案第29号	指導の路線認定の件	原案可決
議案第30号	公有水面埋立について	原案可決
議案第31号	公の施設に係る指定管理者の指定について (つがる市森田ふれあい交流の里「おらほの湯」)	原案可決
議案第32号	〃 (つがる市木造福祉交流センター「花しょうぶの館」)	原案可決
議案第33号	〃 (つがる市車力ウェルネスセンター)	原案可決
議案第34号	〃 (つがる市柏ふるさと生きがいセンター)	原案可決
議案第35号	〃 (つがる市稲垣特別養護老人ホーム安住の里)	原案可決
議案第36号	〃 (つがる市車力特別養護老人ホームゆうあいの里)	原案可決
議案第37号	〃 (つがる市車力老人福祉センター)	原案可決
議案第38号	〃 (つがる市柏老人福祉センター)	原案可決
議案第39号	〃 (つがる市木造福祉センター「かつこうの館」)	原案可決
議案第40号	〃 (つがる市稲垣デイサービスセンター)	原案可決
議案第41号	〃 (つがる市稲垣デイサービスセンターふれあいの家)	原案可決
議案第42号	〃 (つがる市森田デイサービスセンター)	原案可決
議案第43号	〃 (つがる市柏デイサービスセンター)	原案可決
議案第44号	〃 (つがる市車力デイサービスセンター)	原案可決
議案第45号	〃 (つがる市車力デイサービスセンターゆうあいの里)	原案可決
議案第46号	〃 (つがる市稲垣在宅介護センター)	原案可決
議案第47号	〃 (つがる市稲垣シルバー創造センター)	原案可決
議案第48号	〃 (つがる市つがる地球村、つがる地球村スポーツパーク)	原案可決
議案第49号	〃 (つがる市車力ウェルネスセンター)	原案可決
議案第50号	〃 (つがる市道の駅アーストップ)	原案可決
議案第51号	つがる市教育委員会委員の任命につき同意を求めるの件	同意

ターの年間入浴者数の推移は。

### 福祉部長

答 全体的にどの温泉も利用者は年々減少になっています。

車力温泉の場合、平成21年度の実績については、温泉改修により1万8、531人減少しています。



### 総務常任委員会



委員 山本 清秋

### 民事調停の件

問 佐々木 直光委員

今後、調停を考えているのか。

### 財政部長

答 今回は、定額の給料がある方を3人に絞ったわけですが、まだ滞納している方で、給与の所得がある方も多数おります。今後も悪質なものであれば、調停へ持ち込むのも効果的ではないかと考えております。滞納者の動きを見て、必要があれば、やっつけていこうと考えています。

### 佐々木 直光委員

問 住宅を借りる場合、当然保証人が必要ですが、滞納した場合は、保証人から徴収はしていないか。

### 財政部長

答 もちろん、滞納があれば、保証人の方に督促をしています。簡単に収納されるという状況にはなっていないというのが現状です。

### 佐々木 直光委員

問 保証人が亡くなった場合、支払い能力がなくなったり、更新など、うまくいってないというところか。

### 財政部長

答 そういう事例があるとは聞いていません。亡くなれば、当然その住宅を借りていない方の届け出があればいい。

## これまでの議会の活動の一部を紹介します

### 2 月

1	青森県市議会議長会第3回総会・青森市
3	全国市議会議長会基地協議会第73回総会・東京（～4日）
11	つがるの宝発表会
17	後期高齢者医療広域連合議会定例会・青森市
18	広域行政圏市議会協議会第41回総会・東京（～18日）
21	平成21年度つがる市文化賞・スポーツ賞

### 3 月

1	木造高校卒業式
2	議会運営委員会
5	第1回定例会召集日
6	木造高校稲垣分校卒業式
8・9	本会議（一般質問）
10～12	予算特別委員会
16	教育民生常任委員会、建設常任委員会
17	経済常任委員会、総務常任委員会
19	閉会

### 4 月

6	つがる市民交通事故防止総決起大会
8	つがるブランド推進会議
12	つがる市連合婦人会定期総会
14	東北市議会議長会総会・会津若松市（～15日）
17	障害者と共に地域生活を考え・拓く会定期総会
20	つがる市交通安全対策協議会
23	つがる市シルバー人材センター通常総会
26	つがる市緑化推進委員会総会
28	つがる市民生児童委員連絡協議会総会
29	青森懸護国神社第62回例大祭

いのですが、なかなか届け  
出がありません。  
保証人の確認を徹底するよ  
うに建築住宅課の方に申し  
入れておりますので、今一  
度、確認してまいりたいと  
思います。



## 3/9 車力中学校視察



車力中学校視察  
畑山校長から説明をうける議員団

3月9日、本会議終了後、改築工事をしてきた校舎が完成した、車力中学校を議員が視察をしました。畑山寿美子校長の案内で、完成したばかりの明るい校舎を見学し、バリアフリー仕様や、木材をふんだんに使った内装に感嘆の声をあげていました。今定例会に、屋内体育館改築工事の請負契約の締結が可決されて、平成22年3月完成です。

議会だよりは今号から紙面を刷新、表紙がカラーとなりました。これまでと同様、わかりやすくお伝えできるように編集にあたりたいと思いますので、よろしくお願います。

4月6日松の館において、交通事故のない安心で安全な明るい地域づくりをしようと、「つがる市民交通事故防止総決起大会」が行われました。大会には、議長と野呂司議員（つがる地区安全運転管理者協会会長）が出席、交通安全に対する意識高揚を促していました。



## 4/6 つがる市民交通事故防止総決起大会

議会を傍聴しましょう  
《次回定例会予定》6月

## 編集後記

つがる市議会だより第22号をお届けいたします。つがる市も合併して今年で5年を迎えました。この間、市民の皆様にとっては、どんな5年間でしたでしょうか。

「市になってよかった」「サーブスが低下している」など、色々な意見が聞こえてきます。意見は真摯に受け止め、私も議員も、今一度、合併直後に立ち戻って気持ちを新たに、次のつがる市の5年後が明るい未来であるために、努力していきたいと思えます。

### 市議会だより編集委員会

- 委員長 成田 克子  
副委員長 長谷川 徹  
委員 木村 良博・佐藤 孝志  
小笠原 忍・村上 秀徳  
佐々木慶和・平川 豊  
齊藤 幸洋・白戸 勝茂